

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		防災意識啓発事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	1	危機管理・防災対策の推進	所属課	総務課	担当者名 栗木清智
	基本事業	1	災害の未然防止対策	所属班	交通防災班	(内線) 1223
				法令根拠	災害対策基本法	

予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	4	事業連番	10014	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	5	
														コスト削減優先度評価結果	9

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 S36 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
市民に広く、防災の重要性を理解してもらい、自ら防災に関しての行動ができるよう、啓発する事業である。  
【業務の流れ】  
①防災訓練の実施 ②防災マップの作成 ③住民への講話  
【主な予算費目】  
職員手当 旅費 需用費(消毛品費)、負担金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 出前講座を実施した。 ひまわり公園周辺地区を対象に総合防災訓練を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 出前講座の実施。 須屋地区住民に対して総合防災訓練を計画している。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 防災訓練の実施回数 回 イ 啓発事業の実施回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 災害の恐ろしさを認識し、防災力(防災に対する知識と対応能力)を高める。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市民 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 災害に備えることができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 防災訓練参加者 人 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 公的機関の耐震化率 % イ 危険箇所の未整備箇所数 箇所

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円	12	12	12		12	12		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	853	1,026	705	731	731	731		
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		68	70	106	70	70		
		延べ業務時間	時間		1,108	1,100	1,301	1,100	1,100		
(B)人件費計		千円	0	4,410	4,378	5,178	4,378	4,378			
トータルコスト(A)+(B)		千円	865	5,448	5,095	5,178	5,121	5,121			

活動指標	ア 回数	0	1	1	1	1	1	1	1	目 標 合 計 値 画  22 年 度
	イ 回数	0	8	8	13	13	13	13	13	
対象指標	ア 人	53303	54027	54518	54407	55124	55732			
	イ 人		1200	1200	935	1200	1200			
成果指標	ア 人									
	イ 人									
上位成果指標	ア %	90.2	90.3	90.3	89.9	95.7	97.8			
	イ 箇所	32	32	32	32	31	31			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
災害に強いまちづくりを進めるため、災害時に市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、日頃からの心構えを醸成するため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
災害に対する情報量の増加に伴い、市民の防災に対する意識が高くなった。自主防災組織率も年々あがっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・総合政策審議会から、各家庭での防災に対する取組みを働きかけるよう、指摘があった。  
・議会から、市が行う防災訓練のほかに、自治会でも訓練を行う必要があるとの、意見があった。  
・議会から、大災害が起こっていない本市においては、住民の危機意識が欠如しているため、勉強会が必要という意見があった。  
・議会から、各家庭でも災害用品の備蓄に努めてもらえるよう、働きかけるようにと、指摘があった。

事務事業名	防災意識啓発事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <b>意図の「防災力を高める」ことが、結果の「災害に備えることができる」ことに結びつく。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <b>多くの市民の参加を得ながら実施している訓練や啓発事業は、市民の防災意識啓発を図る手法として妥当性がある。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <b>対象・意図とも現状で適切である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <b>防災に関する啓発を繰り返し、訓練参加を促すことで、向上の余地がある。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <b>啓発を行わないとすれば市民の防災への関心が薄れ、知識を得る機会も少なくなり、いざというときの対応ができない。</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <b>類似事業はない。</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>啓発に要する事務であり、削減の余地はない。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <b>市民へ参加を呼びかけており、また、すべての市民が災害発生時に正しく行動することが必要であるため、本事業を実施することは、公平・公正である。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①有効性については、地域への総合防災訓練への参加を促すことで、成果の向上が期待できる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	従来からの啓発事業と併せて、過去に実施したことがない地区で総合防災訓練を計画し、市民の防災意識をさらに高めたい。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
防災訓練を行うに当たって、市民の参加をどのように促すか、検討する必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	5	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )